

令和6年4月18日

◎西森（雅）委員長 ただいまから、危機管理文化厚生委員会を開会いたします。

（10時30分開会）

◎西森（雅）委員長 本日の委員会は、昨日に引き続き、「令和6年度業務概要について」であります。

《公営企業局》

◎西森（雅）委員長 それでは、日程に従い、公営企業局の業務概要を聴取いたします。
業務概要の説明に先立ちまして、幹部職員の紹介をお願いいたします。

（局長以下幹部職員自己紹介）

◎西森（雅）委員長 それでは、最初に局長から総括説明を受けます。

なお、局長に対する質疑は、各課長に対する質疑と併せて行いたいと思いますので、御了承願います。

（総括説明）

◎西森（雅）委員長 続きまして、各課長の説明を求めます。

各課長の説明は適切かつ簡潔をお願いいたします。また、各委員も簡潔な質疑をお願いいたします。

〈電気工水課〉

◎西森（雅）委員長 まず、電気工水課を行います。

（執行部の説明）

◎西森（雅）委員長 質疑を行います。

◎岡本委員 令和6年度公営企業局当初予算説明内訳表の3ページです。営業外費用の中に新エネルギー推進費がありまして、新たな再生エネルギーへの取組を考える予算だと思うんですけども、具体的にどのようなことを考えられておりますか。例えば小水力発電にシェアを広げていくなどの考えがありましたら教えていただけますか。

◎石原電気工水課長 今年度新エネルギー推進費としまして予算を550万円とっております。内容としましては、再生可能エネルギーの利活用で、脱炭素の取組をされています流域市町村と一緒に何か事業ができないかを調査研究することと、物部川水系における小水力の発電についても可能性調査ということで、予算をとらせていただいております。

◎岡本委員 小水力発電に視点がいつているのか。

◎石原電気工水課長 小水力発電については、これまでも検討しておりましたが、再度検討をしようかと考えております。

◎岡本委員 私の過去の記憶で、三原村で小水力発電に取り組むと言われた時期があるんですけども、具体的にはどうですか。

◎石原電気工水課長 今年は物部川水系において、再度小水力の可能性があるかどうかの

調査研究をしていきたいと考えております。

◎岡本委員 売上げも含めて、現実的になりそうでしょうか。

◎石原電気工水課長 以前検討した結果もあるので、それをもう一度検討させていただいて、可能性があるか検討していきたいと考えております。

◎西森（雅）委員長 質疑を終わります。

以上で、電気工水課を終わります。

〈県立病院課〉

◎西森（雅）委員長 次に、県立病院課を行います。

（執行部の説明）

◎西森（雅）委員長 質疑を行います。

◎坂本委員 特に被害がなく、平常どおり外来診療されているということですが、エレベーターは再開しているからいいんですけれども、4階のNICUの壁にひびが入っていたが、これは被害とは捉えていないのですか。

◎澤田公営企業局長 そちらは健康政策部からの報告でありましたけれども、恐らく従前からあったのではないかと考えているところでございます。

◎坂本委員 健康政策部からは水漏れがないか確認作業中ということだったんですけれども、それらについては、水漏れがなかったということで、平常どおりの診療が開始されていると思うんですけれども、配管の縦系列は全部検査された上での外来診療の再開ですか。

◎澤田公営企業局長 現在詳細については調査中でございますので、縦系列の配管が全て正常に動いているかは、少しお時間が必要になってくるかと思っております。

◎坂本委員 通常どおり再開していて、もし損傷があつて、そこから漏水すると、また被害が大きくなったり、あるいは衛生面が確保できなくなったりしないか心配をしているんですけれども、その辺は大丈夫ですか。

◎澤田公営企業局長 御指摘の恐れもございますので、至急、病院にも指示をして、確認をしたいと考えております。

◎坂本委員 深夜で、スタッフも日中より少ない中で大変な御苦勞はあったと思うんです。ここではその詳細は分からないと思うんですけれども、ぜひ出先機関調査で幡多けんみん病院へ行った際には、そのときの教訓や、職員がどういう対応をされたかぜひ報告してもらるように、準備していただくことをお願いします。これは要請です。

あと議会の災害対策本部でも、県の災害対策本部会議の報告を受けたときに課題になっていたんですけれども、あき総合病院と幡多けんみん病院の皆さんの安否確認システムの回答率が低かったことについて、どういうことかというような疑問が出ていました。ひょっとしたら分母の中に、勤務者もいたというような、病院という特殊な勤務形態の中で生じていることなのかどうか分かりますか。

◎松井県立病院課長 現状、把握し切れておりませんので、両病院からも状況を聞きながら、しっかりと安否確認できるように対応してまいりたいと考えております。

◎坂本委員 未払い時間外の費用で、8,300万円相当を計上しているんですけども、これは今年度で全額支払えるのかと、退職した人にも支払わなければならないケースがあって、それはきちんと支払いができるのかについて、どうなっていますでしょうか。

◎松井県立病院課長 昨年調査いたしまして、260名余りと申しましたが、今年度なるべく早い時期に全額をお支払いすることで、今準備を進めているところでございます。その中には当然退職された方もございますので、連絡をとりながら、お支払いをしていきたいと考えております。

◎坂本委員 特に今回の場合は始業時間前の時間外が、未払い労働として認められたんですけども、始業時間前だとなかなか事前の時間外命令は難しいかと思えます。事後の追命をきちんと申入れができるのか、その注意喚起をしたとしても、そういうことが言える環境にあるのかどうかについてもまた今後十分留意をしていただけたらと思えます。

◎岡本委員 医師の定員の状況を教えていただきたいのと、営業する中で、その定数の問題がどのようになっているのかについて、概略を教えていただきたい。

◎松井県立病院課長 ドクターの状況でございますけれども、あき総合病院におきましては、令和5年度43名が今年度45名と2名増員になってございます。それから、幡多けんみん病院でございますけれども、令和5年度54名が本年度59名でプラス5名、トータル7名増員になってございます。その中で、幡多けんみん病院ですと、幾つか常勤医師が確保できておらず、応援によっているところもございます中で、何とか診療については実施しているところでございます。

◎岡本委員 昨年度比で増えているという報告があったわけですけども、定員数はどんな状況でしょうか。まだまだ不足しているのか、問題なく営業ができているのかについて教えてください。

◎山本県立病院課企画監（経営企画担当） 常勤医の確保が難しかった幡多けんみん病院の診療科につきましては、眼科に常勤の先生が来てくださらない状況がございましたけれども、6年度からは2名の先生が常勤で来てくれております。また、あき総合病院では、麻酔科の先生が1名増えて、今年度から2名体制になりました。これについては、手術件数などの増加が期待できると思っております。また常勤1名であったりする診療科もございますけれども、そういった診療科につきましては、随時非常勤で応援をいただいている状況にありますので、定数に対してのお答えになっていないかもしれませんが、医療を提供する上で、非常に困っている課題は、今のところ少ないと考えています。

◎西森（雅）委員長 質疑を終わります。

以上で、県立病院課を終わります。

以上で、公営企業局の業務概要を終わります。

以上で、全ての日程を終了しました。

なお、5月8日からは、出先機関等の業務概要調査が始まります。5月8日は、高知市方面の出先機関の調査であります。議事堂、午前9時出発となっておりますので、よろしくをお願いします。

これで委員会を閉会いたします。

(11時22分閉会)